

<政府、「国家産業戦略2030」を策定>

ドイツ政府は、米国や中国の巨大プラットフォーム企業の台頭でドイツや欧州の企業の競争力が失われる脅威に直面する可能性があることから、2019年2月に、製造業の競争力向上と技術面の優位性を維持するための戦略文書「国家産業戦略2030」を策定した。同文書で政府は今後の最も重要な基礎イノベーションとして「デジタル化」と「人工知能（AI）の活用」を挙げ、AI活用の重要分野として「自動運転」や「医療診断」を挙げている。そして、既存の強みのある製造業ではドイツ産業をEU内で技術を主導する立場に置くとともに、EU域内で研究開発から生産、サービス、流通などのすべての工程（バリューチェーン）を完結させることが重要としている。「国家産業戦略2030」は今後、産業界や労組などとの議論を経て具体的なロードマップの作成、必要な法制化を行う予定である。

ドイツ経済が前述のような世界的な環境変化に直面している現状からみて、また、製造業がドイツ経済の屋台骨となっている現状からみて、ドイツにとって製造業の競争力の維持、向上が喫緊の課題であることは間違いないと考えられる。

ただ、ドイツが現在直面しているような、自動車などの製造業が反グローバル化の波に翻弄されるといふリスクを軽減するためにも、保護主義への対応、自由貿易への取り組みが以前にも増して重要となろう。また、これと並行して製造業への過度の集中と依存を避け、経済のサービス化といった経済構造の多角化に向けた議論も今後必要になってくるものと思われる。

(注) 本稿は2019年第2四半期までの経済動向をベースにとりまとめたものです。

参考文献

- ・ Monatsbericht August 2019, 71. Jahrgang Nr.8, Deutsche Bundesbank Eurosystem
- ・ ifo Konjunktur-Perspektiven, August 46. Jahrgang, ifo INSTITUT
- ・ “Deutsche Wirtschaft trotz ausgeprägten Unsicherheiten: Grundlinien der Wirtschaftsentwicklung im Sommer 2019”, DIW Wochenbericht 24/2019
- ・ Nationale Industriestrategie 2030 – Strategische Leitlinien fuer eine deutsche und europaeische Industriepolitik, Bundesministerium fuer Wirtschaft und Energie